

Ⅸ 自由意見

さいごに 思うことについて自由にご記入ください。

身体障害者から 272 件、知的障害者から 49 件、精神障害者から 46 件、難病患者からは 106 件、障害児から 131 件、計 604 件の貴重なご意見をいただきました。1 人で 2 つ以上の内容について記入されている場合は、それぞれを 1 とカウントするため、件数は延べ件数となります。いただいた記入内容を分類した上で、代表的な意見を掲載しています。

なお、それぞれの回答の末尾のかっこ内に障害区分を示しています。

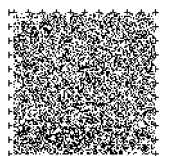
1 福祉に関する情報や相談

(1) 相談窓口について

- 不安なことも多くあるのですが、どこに相談したらいいかわからず、また時間的な余裕もない状況です。気軽に時間を問わず、相談できる窓口やツールがあるといいなと思います。(障害児)
- 豊島区の福祉は遅れている方だと思う。担当になっても1年ですぐ代わってしまったりして、悩みや相談が伝わりにくい。福祉課に所属しても、理解してくれているのか、わからない。(身体)
- 西部子ども家庭支援センターのかたがたにお世話になっていて、大変感謝しております。障害のある子を持つ親同士の友達もそこでできました。他にもそのような人達の交流の場や、いごこちのいい場所が増えると嬉しいです。相談できる場がもっと増えると嬉しいです。(障害児)

(2) 情報の周知・提供

- 行政サービスの電子化が、アクセシビリティに配慮された形で進めば、視覚障害者にとって非常に便利になると思います。区役所から送付される書面にQRコードが印刷されており、そこからスマートフォンでWebページにアクセスでき、書面と同じ内容を読めるというだけでもかなり助かります。(身体)
- 利用できる福祉サービスのことをよく分かっていませんし、どこでその情報が得られるのかも分かりません。総合窓口となるようなものがあったり、サービスの一覧を見ることができるといい仕組みがあるとありがたいです。(精神)
- 稀少難治性てんかんを患っていますが、専門医も日本にはほとんどおらず、インターネット等で調べても同じ疾患のかたがおらず、相談できる機関も当事者会もありません。福祉的サポートはいただけていますが、情報が得られる場所や難病(稀少)の相談できる場所、機会をつくっていただきたいです。(難病)



2 サービスの利用状況・要望、経済的支援

(1) ホームヘルプ

- ・ 障害により手の届かない範囲の家事ができないため月に一度くらい支援してほしいが、平日働いているため支援を受けることが困難。1か月以内の予約で土日祝日にフレキシブルに利用できるとうれしい。民間に依頼する方法もあるが、高額のため利用を考えてしまう。民間企業を利用した場合の補助金制度があるとありがたい。(身体)

(2) ショートステイ・入所施設

- ・ ショートステイの受け入れ施設を充実させて欲しいです。施設箇所数・突発的な事を含めて日数的にも対応できる内容を充実させて頂けると家族の負担が軽減されると思います。(身体)
- ・ 障害者のショートステイ施設を作ってほしいです。障害者の親も安心して仕事ができる環境作りをしてほしいです。(特に学校卒業後)(障害児)

(3) 障害者グループホーム

- ・ 視覚障害者のグループを都内のレベルでもいいので増やして欲しい。(身体)
- ・ 重度身体障がい者グループホームの設置を早急に進めて頂きたいです。(身体)
- ・ グループホームの施設の整備にもう少し取り組んでほしいです。(精神)

(4) 移動支援

- ・ タクシー券や移動手段の充実(身体)
- ・ 障害児が双子だった場合の特例措置などは考慮してほしい。また、小学校の情緒級の一年生からの受入れ、支援級の拡大もしてほしい。二人とも多動児なので、園の送迎、病院の受診等が大変です。(障害児)

(5) 福祉タクシー券

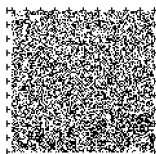
- ・ 歩行困難なため、タクシー券の金額をもっと増やしていただけると助かります。給与、給付金だけでは、金銭的に難しいため。(身体)
- ・ 聴覚障害者にもタクシー券の配布をしてほしいです。(電車のアナウンスが聞こえないと不安なため)(身体)

(6) 補装具・日常生活用具

- ・ 医療も福祉も出来る事には限界がある。家族にも限界はある。車いすに乗せることがひとりではできない。病院に行くのも災害が起きたとしても一人では車いすに乗せられません。介護ロボット等の導入支援をお願いします。(腰補助用マッスルスーツ)(身体)
- ・ 日常生活用具は、杵を使ってしまっているので、修理は自己負担と言われても、何万円もかかるので、補助して下さい。(身体)

(7) その他のサービス

- ・ 夜間訪問(ヘルパーのおむつがえ、体位をかえる)がもっと多いといい。男性職員ヘルパーで力の強い人がほしい。(身体)
- ・ 聴覚障害には手話を母語とせず日本語を母語とする難聴者の人口が多いという統計があります。高



年齢難聴から若い時に失聴する人まで様々。「手話」ありきの施策ではなく、聴覚障害者全般の多様性を踏まえ、音声認識アプリによる会話の見える化、イベントやメディアにおける字幕付与等、音声情報を文字で伝える「情報保障」をもっと進めてもらいたい。(身体)

- ・豊島区の障がい者は知的障害、肢体、医療ケアのかたがた等増えています。通所先を作っていたきたいと切に希望しています。限られたスペースの中で利用者の数が増え、スタッフの手も足りず事故につながるケースがいつ出てもおかしくない状態です。(知的)

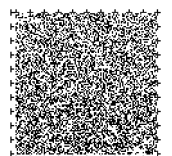
(8) 生活費、医療費等の助成

- ・今後必要な医療費、治療費(目、歯、腰等)が今の貯蓄額で賄えるのか不安である。今まで頑張った自分に対して、旅行や趣味に使いたいが、不安で使うことができない。(身体)
- ・障害基礎年金(20歳前に障害になった→所得による支給制限あり)(20歳以降に障害になった→所得による支給制限なし)20歳前に障害になった人にも所得による支給制限なしになるとありがたい。(身体)
- ・区外の作業所に通う場合の交通費の補助もして頂けると有り難いです。2万円前後の給料の中から、4~5千円の交通費を支払わなければならないのは大変です。かといって通所先を変えるのは本人にとっても辛いことです。(知的)
- ・給付金制度や医療費助成が役立っているのでこれからもサービスを継続して下さい。(難病)
- ・パーキンソン病でえんげ障害があるため、通常の飲食が出来ない。そのためムース食やゼリー飲料代の支払いが高額になる。補助等があると生活も楽になれるのかと思う。(難病)
- ・発達障害で服薬しているが、高校生になると医療証がなくなるので、金銭面で不安。(障害児)

3 外出

(1) 駅・交通機関

- ・夕方にも(朝だけでなく)女性、障害者専用車両を導入してもらいたいです。(身体)
- ・駅などにあるエレベーターで、混雑して乗れず待たされることがあるので、なるべく障害者を優先的に乗せてほしい。エスカレーターでの「片側空け」をやめるよう正しい乗りかたのキャンペーンを強化してほしい。(身体)
- ・満員電車でのヘルプカード所有にもかかわらず優先席でみてみぬふりをして、席を譲ってくれない人が多いので、電車に乗ると非常にストレスを感じる。(身体)
- ・池袋駅のバリアフリー化を進めてほしい。エレベーター、エスカレーターが少なく、とても不自由。(身体)
- ・車イスでも通れるようにお店を広げてほしい。車イスで電車に乗る際、補助の駅員さんがすぐに来てくれない。(身体)
- ・交通機関のエレベーター、エスカレーター等、バリアフリー化は進んでいるが、一定の箇所であり、車両数によってはかなり長い距離を歩き、又、他の交通機関に乗り継ぐ時など移動距離が大変長くなる事が多い。車両との関係を統一されていたら良いかと感じている。(身体)
- ・都バス以外のバスも無料にして欲しいです。あと、都営以外の電車も。(知的)
- ・豊島区の相談所、図書館が公的交通手段からやや遠く、アクセスが非常に悪いように感じる。東西以外にも南北のアクセスを充実させてほしい。(精神)
- ・駅のホームに全てガード扉をつけてほしい。(難病)
- ・バス停に屋根、椅子がない所があるので不便(設置して欲しい)。(難病)
- ・できる限り外出の機会の確保はしたいと思っている。歩道の整備、交通機関の手すり、段差(ホ



IX 自由意見

3 外出

ームとの)の解消等様々な面でバリアフリー化の推進をお願いしたい。その為にも当事者の視点を重視して頂く事が、重要であると思っています。取り組み活動メンバーに当事者は加入されているのでしょうか。(難病)

- ・西部子ども家庭支援センターや保健所は公共の交通機関からのアクセスが不便な所を改善してほしい。(障害児)

(2) 道路、歩道等

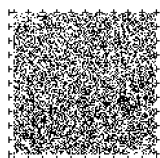
- ・豊島区には大きな道路(明治通りとか川越街道とか…) +ターミナル駅、乗り換え駅が多いが、歩行に不安のある人間が安心して通れる・渡れるところは少ない。たとえば三車線道路は時間内に渡りきれないし、歩道橋まではとても遠回りになる。(身体)
- ・歩道の車道側にプランターや植木鉢が並んでいて歩道が狭くなり自転車もスピードを出して走っていて、雨の日など特にあぶない。(身体)
- ・点字ブロックがないため歩けない場所が多い。(身体)
- ・信号にも音がないと渡れないため、人がいないとでかけられない。(身体)
- ・歩道の路面をなめらかにしてほしい。道路の段差を減らしてほしい。視覚障害のかたには大変申し訳ないのですが、車いす利用者にとっては「点字ブロック」の凹凸が車いすのタイヤがひっかかってしまい、危険を感じる時があります。(身体)
- ・暗い所が見にくいので、街灯をもう少しつけて欲しいです。(難病)

(3) 事故防止

- ・日本は他国に比べて、手すり、スロープ、エレベーターが圧倒的に少ない。(エスカレーターでも無理な人がいると知って欲しい)又、体ぎりぎりにすり抜けて行く子供や、大人もいて本当に恐いです。(身体)
- ・①歩きスマホ、スマホを見ながら自転車を運転している人が多すぎる。②歩道にはみ出している看板、自転車駐車。①②は、足の悪い人間にはとても危険です(悪くない人にも)。法令でちゃんと取りしまってください。(難病)

(4) バリアフリー(駅・公共交通、道路以外)

- ・この頃、障害者トイレ(多目的トイレ)が多くなってきていて助かっていますが、まだまだベット付きのトイレは少なく困っています。オムツを使用しているので、介助者が使えるベットはどうしても必要です。(身体)
- ・私は耳が不自由です。駅などの放送が聞こえなくてこまっています。主要駅、大きな公共機関は電光けい示ばんやボードに書いてありますが、その他はない所が多いです。(身体)
- ・車椅子で誰でもトイレに入ると、ドアの開閉ボタンの位置が悪く、届かないことが多い。出入口に近すぎて、足がつかえて押せない。物が置いてあったりもする。教育してほしい。(身体)
- ・池袋西口や大塚駅南口、駅前広場を作るために、タクシー乗り場が遠いしわかりにくくなったと思う。スロープやエレベーターは駅ビルやJR等施設のほうが作るのだから区としては手出しできないとは思いますが、建築物の許認可手続き時にでも不自由な人の動線を考えて指導することはできないだろうか。大塚駅の北口も車を入れないようにする(作り変える)とのことなので、更に不便にならないか心配している。(身体)
- ・オストメイト専用トイレが欲しい。見た目でもオストメイトと分からない為、必要なのに障害者トイレに入っているとと思われる為。(身体)
- ・バリアフリー化が進み、外出しやすくなったと感じています。手すりが途中でとぎれている所では、階段の途中で転びそうになったことが何度かあり、踊り場以外で手すりがとぎれないといい



のに、と思います。また、ほとんどが金属製の手すりで、冬はものすごく冷たく、夏の日の当たる場所は触れない程熱いこともあるので、樹脂製などにしてもらえるといいのに、と思っています。（障害児）

(5) その他

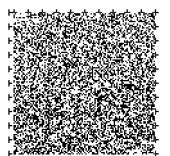
- ・ 気軽に参加できるスポーツ施設がほしい。（難病）

4 住居

- ・ 住宅や住宅補助を作って欲しい。（身体）
- ・ 障害者でも（家族で）低収入でも入居できるマンションをつくってほしい。（身体）
- ・ 都営アパートの件は、以前出していました、障害者の枠にチェックしていましたが、あたらず、無意味なのかと思っています。（身体）
- ・ 区営住宅の募集で、世帯数をふやしてほしいです。（知的）

5 防犯・防災

- ・ 災害時の透析施設のネットワークの強化と移動手手段の確保と確立。（身体）
- ・ 台風19号の時、避難を考えたが、一般の人といっしょは無理と思い、避難できなかった。この避難所なら障害者でもある程度、大丈夫などの情報もなく困った。できれば心障センターを避難所として欲しいと思う。（身体）
- ・ 災害時の対応について 近所づきあいが無い。民生委員も重度障害者優先と思われる。聴覚障害者への支援制度がなく、当事者は「自助」までしかできない。「共助」「公助」に聴覚障害者への情報伝達手段の確保を入れて下さい。耳が不自由な事を近所の人には知らないため、いざ避難する必要があっても声はかけられないと想定できる。又防災無線の放送は聞こえない為地域の防災、避難勧告情報の取得は遅れる。逃げ遅れ、とりのこされることを懸念している。（身体）
- ・ 最近地震・台風が多く、どのように対応していいのかわからない。いざどのような行動をとればいいのかかわからない。なので、障害者のための講習会を開いてほしい。（知的）
- ・ 「豊島区障害者防災の手引き」について何も知らない。どこで、どうやって知れば良いかもわからない。情報がもっと広く流通するようにしてほしい。（精神）
- ・ 先日の台風の時、交通機関があるうちに早めの避難を考えましたが、私の場合、在宅酸素が補給出来なく不安で避難場所なく、私より大変で困る人が多くいました。（難病）
- ・ 災害がおきた時、感染症対策も重点をおいてほしい。（難病）
- ・ 災害時、薬の入手が不安です。（難病）
- ・ 息子はこだわり衝動が強く、感覚過敏があり、思い通りにならないと怒って絶叫する等、場に合った行動がうまくできません。普段も病院や公共の場で肩身の狭い思いをしていますが、災害時にはどうなるのか不安があります。（障害児）

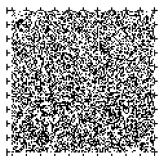


6 仕事・就労

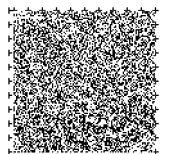
- ・ 職場が変わって同僚や上司が手厚くサポートをして下さるようになって以後、人生が変わりました。障害者雇用を柔軟で風通しのよい場にしてください。大手企業は障害者の採用雇用を法律で定められていますが、数字の帳尻合わせばかりでサポート体制ができていません。上司の理解がないため、現場の負担が大きく、余計な不安が陰口になり差別になり問題が大きくなります。（身体）
- ・ 障害に関する求人が少なく、一般求人で障害が有ると説明することがあるのですが、対応できないと言われ、どうすればいいのかわかりませんでした。なので障害の求人を増やすのではなくて、一般求人で障害者でもできる仕事（内容）にしてほしい。（知的）
- ・ B型作業所に通所していますが、工賃の金額、指導者の態度、就労への準備やアドバイスは最低限しかやってくれていないと感じています。不信感を強く感じています。（精神）
- ・ 過去30年以上、一般企業での就労を試みてきましたが、長続きしたところは少なく、職場にいても精神的に針のむしろでした。今、B型事業所に救われました。人間関係を築くのは大変で、時間もかかります。B型事業所へのバックアップをお願い致します。（精神）
- ・ 精神障害者の各人によって程度が違い、自信を失いやすいことが多い。環境ですが、長所を生かせる作業場であること、社会環境であることを望みます。（精神）
- ・ 軽度でも将来健常者のように生計を立てていけなければならないので、手厚い支援が必要です。障害者雇用促進法が制定されたとはいえ、企業は身体障害のかたを雇用する傾向にあり、知的障害者の就労は厳しいままだと聞きます。軽度判定だからと軽視せず、親亡き後も安心して暮らしていける支援をお願いします。（障害児）
- ・ 特別支援学校卒業後、通所する福祉作業所や生活実習所が足りないと思います。（障害児）

7 障害への理解・差別・虐待

- ・ 健常者の人に嫌なことを言われたことはないけれど、私より重度の四肢障害を持つお子さんの母親に、悪気無しに「それくらい（の程度の障害）だったら、あまり困ることもなかったでしょう？」と言われて、あなたがそれを言うのかと思った記憶がある。健常者と障害者だけじゃなくて、障害をもつ人同士でそんな偏見みたいなものがあったら嫌だなあと感じた。（身体）
- ・ 健常者の時に感じなかった事が、自分自身障害を患ってからとても嫌な思いをすることが度々ある。障害の為にストックを使用して歩行している（障害者マーク掲示）のにわざとぶつかってきたり、公共交通機関を利用する際も優先席に健常者のかたが当たり前のような顔をして座っていて席を全く譲らないなど……。もっと1人1人が心に余裕を持って、困っている人がいたら自然に声掛けをするそんな優しい人が増えてくれればと思う。（身体）
- ・ 障害者だからという理由じゃなく、人として扱われたい。対等に扱ってもらえず、過小評価され、一定の仕事もらえず、昇給、昇格なし。コミュニケーションの取りづらさもあり、勝手に人のことを決めつけるような言いかたをされる。（身体）
- ・ 見た目で分からない内部障害者は、車いす、ベビーカー専用等のエレベーターでは肩身の狭い思いをする。ヘルプマークが普及しつつあるが、日常多少制限する程度で生活できている場合はつけにくいので、より健常者扱いとなる。みためではわからない障害者もたくさんいるということを理解、認識できるような案内、環境作りをしてほしいと思う。（身体）
- ・ 障害者に対する差別・偏見が無くなって、地域・社会で暮らしやすくなる事。（※相模原市の障害者施設『やまゆり園』で起きてしまった事件はとても悲しく、二度とこのような事は起こって欲しくない。）（身体）



- ・ 私自身先天的な（生まれつきの）障がい者でないので、自身の障がい以外の障がい者について、よく知りません。過去に障がいがあることでスポーツ施設を利用していた際に、好奇の目を向けられたり、冷やかしをうけたこともありました。障がいのない人に、障がい者に対して、どう相對すれば良いのか、等々、発信や紹介があれば理解を深めていけるのでは…と思います。（身体）
- ・ うちの子の場合、障害者の中での生活というより、健常者の中で生活したいと考えているようです。しかしなかなかそういった機会が少なく、苦しんでいるようです。（身体）
- ・ 障害者も健常者と交流した方がいいし、逆もあるといい。それぞれだけでかたまっていると、同じ感覚を共有する人としかないことになってしまう。色々な人がいることを知る機会にもなる。相手の事情や体調、体力の全てがわからなくても、こういうことが大変かもしれないと想像できるようにしたいし、そういう人が増えると嬉しい。（身体）
- ・ バス、タクシー、駅員や区民スポーツセンター、機能回復券が利用できる施設で働く人に障害者が利用できることの理解が少ない。人によってムラがあることが気になる。（身体）
- ・ 私は1級の障害者ではありますが、現状ではまだ動く事ができます。本当に動く事すらままならぬかたや、様々な重度の障害を背負っているかたもたくさんいると思います。私にそのつらさが理解できるかという…まだまだです。ですから、健康な人に理解して欲しいと望むのは、むずかしい事なのかもしれませんね。（身体）
- ・ 施設（入所施設、通所施設）や移動支援、居宅介護に関わる職員やヘルパーの質の向上のために豊島区がきちんと現状を把握して下さい。利用者が安心して過ごせるように、安心して暮らし続ける仕組みを構築して下さい。現場では虐待やいやがらせがなくなりません。（身体）
- ・ 車いすでの電車の利用ではよくしてもらっています。車いすの操作についてもう少しわかっていたらと思います。（身体）
- ・ ダウン症の女性がバス利用していたとき、一般の人とトラブルになっている所を目撃したことがあります。ダウン症の人は運転手に助けを求めましたが、うまく対応してもらえずバスから降りました。障害の内容によって様々な対応が必要だと感じました。（知的）
- ・ 同じ病気のかたと交流したい。具合が悪いときの理解がむずかしい。共感あると心やわらかくなる。（難病）
- ・ 難病患者として、やはり自分でも社会に役に立つ人になりたい。一方的に社会からの恩恵を受けるのは嫌いです。難病患者でも平等に「社会に参与、仕事を勤める」制度と機会を頂きたいと思います。（難病）
- ・ 外出時には必ずヘルプマークを一番見やすいところにつけて外出しています。まだまだヘルプマークを分かるかたが少なく通院時バスで優先席に座っていても見た目では健常者と変わらないので心苦しい気持ちになってしまう事が度々あります。ヘルプマークをもう少し分かっていたらいいようにしてもらいたいです。（難病）
- ・ 障害をもつ親の心のケアをお願いします。自閉症、その他の障害の子ども達が安心な居場所を作って下さい。将来親が残す財産を子が受けつづけるような安心な仕組みを作って下さい。せっかく残しても悪い人にだまされない仕組みを…それが出来たら親はとても救われます。（障害児）
- ・ 豊島区の障害を持つ子供達に対する教育があまりに遅れていると感じます。未来を大切に思うなら教育を充実させて下さい。障害を持つ子供達を理解してもらうことにも役立ちます。（障害児）
- ・ 最近は、発達障害ということをテレビ等で特集が組まれることもあり、大人は少しずつ理解、知ってもらえるようになってきたと思いますが、息子と同世代の子供達にもっと知って理解をしてもらう機会があるといいなと感じます。（障害児）



8 障害児支援について

(1) 教育・学校

- ・子どもは発達障害があり通級へ通っていますが先生の数や日数が全く足りていません。教育面の充実を希望します。

(2) 幼稚園・保育園

- ・福祉サービスを利用しているお子さんなどが通える幼稚園などがもっと増えると良いなと思います。(断わられてしまう事も多くあるようなので。)
- ・一時保育も枠が少なく、予約がいっぱいと断られることが多いです。保育所に入園する時に、兄弟に障害がある場合は点数を加算して頂きたいです。

(3) 通所・療育施設、事業所、子ども家庭支援センター等

- ・計画相談支援事業、学齢期に相談できる事業所を増やしてほしい。
- ・病院では、他の障害のある子やご家族と知り合うことはできないので、子ども家庭支援センターの存在はとても大きい。保育園はとていねいに子を見てくれてありがたいが、いつも「集団生活ではこれが限界」という話をされて、申し訳ないと思ってしまう。今は、保育園をベースに支援センターにいける時に情報あつめという状況で、これで子どもにとって必要なことや、できることがちゃんとしてあげられているのかは、いつも不安。

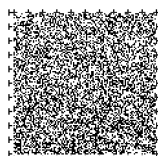
(4) 居場所

- ・障害がある子が不登校になった時学校に戻らなくてもいいというスタンスの居場所があると助かります。私立のフリースクール(高額)しかないのが現状です。
- ・障害児が、安心、安全に放課後を過ごせる場をもっと増やしてほしい。放課後等デイサービスの空きがもっとスムーズに分かる情報があればいいなと感じています。

9 行政

(1) 行政への要望

- ・成年後見人制度は使いたいが費用発生や制度そのものについて、説明会はあるが個々での相談がしたい。決められた相談日ではなく予約できればと思う。(身体)
- ・自動車税の減税手続きが 区役所→税務署→ETC管理会社と手続きが多く出向くのが大変でした。1ヶ所で済むようできないものでしょうか。(身体)
- ・障害者としてサービスを受けられるものと、介護保険利用できるものの区別、どちらを利用した方が良いのか等、両方を上手に活用できる方法を知りたい。(身体)
- ・自閉的な性格のため、集団の中に入ってから生活がなかなか難しいながら一般企業で27年間頑張ってきました。50才近くになってこれからの生活が親としてとても心配です。声かけしてくれる相談窓口や生活のアドバイスをしてくれるかたがいると安心だと思っています。(知的)
- ・障害者(重度)と同居している高齢者が病気等の時、地域での障害者施設にいつでも連絡をして、かつ安全な場所で、一時的にでも生活できるシステムがあればよいと思っている。(知的)
- ・月日が経てば親も子も老いていきます。配偶者に先立たれ一人親も多くなって来ると思います。障害を持つ子と老いた親が共同生活できる施設ができる事を希望します。(知的)



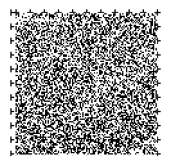
- ・ 当事者本人が1番つらく苦しんでいると思います。しかし本人をささえる家族が少しでも笑顔でゆとりある生活ができれば、それが本人によりよい効果となります。その為には家族へのサポートをお願いします。（精神）
- ・ 家族との関係に困ることがある。そのようなことを相談できる場がほしい。（精神）
- ・ 給付金や手当などの「ばらまき」よりも現実に即した制度やサービス(人手や負担軽減率)の重視を希望します。（難病）
- ・ 区職員の人数を減らしすぎてあらゆる部署で困っています。特に女性職員などをもっと非常勤ではなく正規で採用すべきだと思います。（障害児）
- ・ 子供たちが幸せにくらせる豊島区になってほしい。池袋の映画館、公園づくり、芸術劇場の新築すばらしいと思います。より一層子供たち、お年寄りにとっても楽しい夢のもてる町となるよう、みどりを増やして美しい町にしてほしい。公園内もあそべる遊具、乗り物、ミニ遊園地がない。充実させてほしい。洗練された人の集まる町にしてほしい。（障害児）

(2) 障害者施策全般

- ・ 障害者手帳のカード化を希望します。（身体）
- ・ 老々介護に限界あり。施設に入所していますが、最後は在宅希望をすて切れません。在宅で最後をむかえるための支援・サポートに配慮願いたいと思います。最後はいろいろ個人差があると思いますが、寝たきりを除いては施設で黙ってそれをまつのではなく、何とか希望をかなえさせたい。いずれ皆がそうなるので…。障害者のレベルに応じたモデルシステム構築を期待します。（身体）
- ・ 豊島区の広報（イベントetc）で、視覚障害者が単独で参加できるものを増やしてほしい。（身体）
- ・ 現状の福祉に満足しないで、当事者の意見等に耳を傾けるだけでなく、具体的な施策を行ってほしい。（身体）
- ・ 障害者一人一人への継続した訪問、様子を知ることを行った方がいいと思う。またその家族の話を知る、家族が生涯に渡り、色々話せる、悩みを相談できる専門的な部署があるといいと思う。（カウンセリングなど）カウンセリングのような医療費も無料にしてほしい。（知的）
- ・ この一年で様々な福祉サービスを受けながら、ようやく本来の自分らしさを取り戻しつつあります。障害は自分自身でのりこえていくものだとも知りました。なるべく早くはなれてくれている家族に連絡をとれるためのサポートをお願いしたいです。また自立後のサポートもかさねてお願いしたいです。（精神）
- ・ 個人的に思うことだが、障害者（特に精神障害）の為の支援（資源）が不足している、というよりは、なかなかその人が必要な支援者、支援機関、支援制度にむすびついていないというかたもいるのかなと思う。（自分からSOSを出せない、情報までたどりつけていなくて制度自体をしらない…等）（精神）
- ・ 障害者支援について、積極的、先進的に取り組み、モデルケースとなるような自治体になってもらいたいと思います。特に、子供の支援について、将来を見通した支援、一貫したフォローができる体制があると心強いです。小さいうちから、先を見通した助言やシミュレーションを提示してもらえると、保護者としても心強いうえ、生活設計も格段にしやすくなります。（障害児）

(3) 感謝や応援等

- ・ 福祉タクシー券や都電都バスの無料パス等を使わせて頂いております。大変助かっていて本当に感謝しています。ありがとうございます。（身体）
- ・ サピエなど音声デジターは本当に助かります。（身体）



IX 自由意見

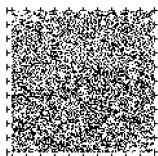
10 その他

- 都営交通の無料も大変有難いです。・バス半額も同様に助かります。（身体）
- 豊島区に愛着があり、より住み良い町になることを期待します。（身体）
- 美術館の割引や無料は大変ありがたく、又生活の楽しみになっています。（身体）
- 聴覚障害者にとって、補聴器の助成金があることは、助かっております。仕事するものとして、社会に自信がもてます。感謝しております。（身体）
- 訪問看護のかたやヘルパーさんに支えられているので週2回1泊ずつの見守り、介護、身の回りの世話などに遠くから通って来ることが、出来るので助かっています。ケアマネさんが上手にスケジュールを組んでくれているのに感謝です。（身体）
- 豊島区役所内にある、くらし仕事相談センターの人たちから、支援を受けて、仕事につくことができました。すごくたすかっています。（精神）
- 自立支援のおかげで精神科通院時の料金支払いがなくなり、結構私生活の負担が軽減されました。料金支払いが無くなった結果、通院する事への抵抗がなくなり、症状を伝えてお薬が増えることへの恐怖心がなくなりました。より自分から治療へ積極的に動けるようになったと思います。皆さまのおかげで毎日が少しずつ生きやすくなっていきます。大変感謝しております。（精神）
- 3年前に難病を発症し、身障者手帳の交付を受けていますが、区の窓口のかたがたには一貫して丁寧な対応をして頂き、感謝しております。（難病）
- 長崎健康相談所のスタッフの対応がとても優しく素晴らしい。孤独な老後をなぐさめられます。（難病）
- 児童発達支援サービスを利用させてもらって、とても感謝しています。手続きに少し手間がかかりますが、適切だと思います。（障害児）
- 放デイがここ数年とても充実したので大人の日中一時も充実してくれるとすごくうれしいです。移動支援は豊島区の自慢ですね。（障害児）
- 西部こども家庭支援センターに通所しております。皆さん親切で大変感謝しております。（障害児）

10 その他

(1) 今回のアンケート

- 調査項目が多すぎる。（身体）
- 質問内容が本人以外の人しか答えられない。答えるのが難しいので「わからない」という答えがないことが不満。（身体）
- このアンケートの結果で区はどの程度の改善をしてくれるのかな？（身体）
- 娘の代理でアンケートに答えましたが、本人が答えるにはむずかしい質問が多かったと思います。親でも分からない事が多少ありました。（知的）
- アンケート調査の結果で何を分析したいのか、もう少し詳細を教えて頂けると助かります。基礎資料にして実行するのかどうかも考えてアンケートすべきだったと思います。アンケートに至る経緯が欲しかったです。（精神）
- このようなアンケートは紙媒体だけでなくQRコードなどをつけ、webでも回答可能な状態で実施されるべきである。本人が回答できるように調査実施側の配慮に欠ける。（難病）

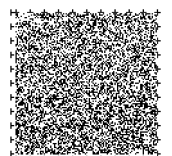


(2) その他

- オストメイトだと銭湯にも温泉にもプールにも入れず辛い。(身体)
- 介護をする人、というのではなく普通の友人がほしい。(身体)
- 障害とは、あらゆる人々が突然に起こり得るものであることが気づかされた。だからこそ、真剣に考えなければいけない問題だと思う。このアンケートに答えながら改めてこの事を痛切に感じました。(身体)
- 在宅になって間もなく一年、仕事を辞めて介護に専念しています。いろいろと助成していただき本当に有り難いのですが、支出も多く、主人を置いて仕事に行く訳にもいかず不安を感じています。(身体)
- 障害のあるといっても様々な障害やレベルがあるかと思えます。私は病気による後遺症ですが、入院、リハビリ期間中「社会とのつながり」が大切であり、公的な就職、就労支援を受けることができたため、無事社会復帰することができたと感じています。(身体)
- 障害の人達が楽しい生活ができるといい。(知的)
- 病気になってから、行動範囲が狭くなったと感じています。(人との会話が特に)(難病)
- 病気を持っている本人だけでなく、その家族の心のケアなども必要だと思います。そうする事で家族からの虐待は少しは減るのでは？(とくに病気の子の親へのケア)(難病)
- 今は学校に通わせて頂いて本人も楽しく充実した毎日を送らせて頂いているのですが、卒業後、働く事もできないのでどう生活を充実させてあげられるのかがとても不安です。(障害児)
- 子供が成長する毎に増える不安。障害者だけでなく、障害者のきょうだいも安心できる日々をすごせたら良いです。(障害児)

事業所からの自由意見

- 下の者がもっと働きやすくなる様、正社員の増員
- 計画相談を中心とし各機関が連携して本人を支える仕組みがしっかりと成り立つと良い。横の繋がりが広がると良い
- 豊島区内に精神の基幹相談支援センターの常設を希望します。又、それに伴い、地域生活支援拠点も複数ヶ所必要だと思います。このままでは計画相談事業所は減少してしまうかもしれません。(業務過多、運営資金不足等の理由で)豊島区はセーフコミュニティに認定されている以上、障害があっても暮らしやすい街を目指すべきと考えます。そのためにも事業所が長くしっかりした支援をするためのシステム作りを積極的にお願いたします。よろしくお願いたします。
- 加算を付けて改善するより、単位数を上げて賃金の改善をしてほしい。
- 地域の事業所を区が活用するという視点で生かして欲しい(地域課題の積極的解決)、そのためにも区職員の数など計画的に確保育成に努めて頂ければと思います(増員してもいいのでは)
- 障害福祉サービスは単価が低く受け入れたくても厳しい。また新規の訪問介護の依頼も少なく、事業化も困難に感じている。
- 報酬改定(平成30年4月施行)により、基本報酬の引き下げが行われた為、今後の報酬改定による引下げの実施が今一番不安です。基本報酬の引き下げによって、経営難により営業停止した事業所もある為、今後障がいのあるお子さんたちの”大切な社会資源”がどんどん失われてしまうのではないかと不安です。



- 関係機関の連携をとりまとめる所がほしいです。
- 豊島区庁舎で受け入れている庁舎内実習は、歩行出来ない人は受け入れてもらいにくい。車イスだと狭い実習室は不向きとのことらしい。であれば庁舎内実習などパフォーマンスに過ぎない。改善するべきだと思う。
- 今もなお電話対応必須との対応を受けるがメール&Faxも可にしてほしい。当事業所はろう者（手話を第一言語とする聴覚障害者）が中心の職員構成なので、窓口を広げてほしい。
- 現在豊島区在住のかたの利用は無いので、講習会等、欠席しています。小規模であることからアットホームな支援を心がけている。
- 障害者でも働けるのに、生活保護を受けている人が多数いる。又、本当に働けないが、自分に合った福祉サービスを知らないで受けられない人も多数いる。どちらも問題なのは表面に出てこない障害者が多い。行政には、そのようなかたがたの掘りおこしを期待している。
- 福祉が数値化される時代となっていますが、本来の福祉は数値化とは無縁の論点であり、交渉の対象ではないと思っています。世界人権宣言にも通じるように「Nothing About us without us」という言葉が大切です。一人一人の違いが尊重され、これまで以上に柔軟な区政を期待しております。本質的な姿勢に誤りがないよう願います。
- 障害者手帳所持者が主対象であるため、発症から6ヶ月が経過の中途障害者（18才～64才）が対象者である。回復期リハビリテーション病院においても診療報酬改正による生活機能のリハビリ（例えば外出訓練など）が算定可能となったこと、また介護保険サービスの通所・訪問でのリハビリの事業者数の増加と、発症期間を問わず申請、退院直後から利用可能かつ国の優先度からも対象者は介護保険利用に流れている数が圧倒的に多い。自立訓練（機能訓練）の利用期限が18ヶ月上限であることや、申請後の手続き（計画相談が入り、支給決定までの時間も要すること）などの煩雑さ、送迎にホームヘルプが利用できないことも利用者減少の要因と考える。故に、ここ数年の傾向としては、身体障害が無い、またはあってもごく軽度の就労希望の高次脳機能障害者が中心となっている。ただし高次脳機能障害者の支援は長期間を要し、その間の適切なリハビリや支援が必要である。通過施設としての役割としての事業所である自立訓練（機能訓練）は都内でも、30ヶ所未満しかないという実態や、他自治体でも定員割れ、国の定めた期間を大幅に超えて受け入れているのが実態としてある。
- 精神科病院や入所施設等からの地域移行支援について今後も区役所全庁をあげて活動を推進して頂けるようよろしくお願い致します。

